

音楽科

第2学年評価計画

観点については、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度、とする。

指導題材	観点	題材の評価規準 学習評価表	具体的評価目標 おおむね満足 B	評価方法 場面
「夏の思 い出」 「サンタ ルチア」	①②③	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。[思] 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p><u>1. 知識・技能</u></p> <p>(1)定期試験における、知識に関する項目の点数</p> <p>(2)実技テストにおける点数</p> <p><u>2. 思考・判断・表現</u></p> <p>(1)定期試験における、思考・判断・表現に関する項目の点数</p> <p>(2)ワークシートの思考・判断・表現の項目による評価</p> <p>C：内容がずれているもの。内容が不十分と判断されるもの。</p> <p>B：授業の中で説明した内容や、自ら理解したことがまとめてあるもの。</p> <p>A：Bに加え自分の考えが根拠を元に書かれており、内容も十分だと判断されるもの。</p> <p><u>3. 主体的に学習に取り組む態度</u></p> <p>(1)実技テストを元に、授業中の活動の様子などから、自らの課題に対して調整しようとする姿勢を評価する。</p> <p>(2)ワークシートにおける、テスト後の自らの学習を調整しようとする項目の評価</p> <p>C：内容がずれているもの。内容が不十分と判断されるもの。</p> <p>B：授業の中で説明した内容や、自ら理解したことがまとめてあるもの。</p> <p>A：Bに加え自分の考えが根拠を元に書かれており、内容も十分だと判断されるもの。</p>	定期試験 実技テスト ワークシート
フーガ 「ト短調」 オーケストラについて 交響曲第5番ハ短調	①②③	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>[思] 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>(1)実技テストを元に、授業中の活動の様子などから、自らの課題に対して調整しようとする姿勢を評価する。</p> <p>(2)ワークシートにおける、テスト後の自らの学習を調整しようとする項目の評価</p> <p>C：内容がずれているもの。内容が不十分と判断されるもの。</p> <p>B：授業の中で説明した内容や、自ら理解したことがまとめてあるもの。</p> <p>A：Bに加え自分の考えが根拠を元に書かれており、内容も十分だと判断されるもの。</p>	定期試験 ワークシート

<p>合唱祭に 向けて</p>	<p>①②③</p>	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声, 言葉の発音, 身体の使い方などの技能, 全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け, 歌唱で表している。</p> <p>[思] 音色, 旋律, テクスチャ, 強弱を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>		<p>定期試験 実技テスト ワークシート</p>
<p>オペラ 「アイーダ」</p> <p>歌舞伎 「勧進帳」</p> <p>文楽</p>	<p>①②③</p>	<p>[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史, 他の芸術との関わりについて理解している。</p> <p>[思] 音色, リズム, 速度, 旋律を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに, 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史, 他の芸術との関わりに関心をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>		<p>定期試験 ワークシート</p>

<p>アルトリ コーダー</p>	<p>①②③</p>	<p>[知] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法, 身体の使い方などの技能を身に付け, 器楽で表している。</p> <p>[思] 音色, リズム, 速度, 旋律を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>		<p>定期試験 実技テスト</p>
----------------------	------------	---	--	-----------------------